

(2) 設備投資計画

① 設備投資計画の有無

今後5年以内の設備投資計画（土地取得を除く）の有無についてみると、全体では設備計画があると回答した事業所の割合は、26.9%であった。

加工種類別にみると、設備計画があると回答した事業所の割合は「水産缶詰・瓶詰」（64.7%）で最も高く、次いで「飼肥料・魚油」（44.0%）が多い。また、設備計画があるとの回答が少なかったのは、「くん製品」（15.0%）、次いで「乾製品」（20.1%）であった。

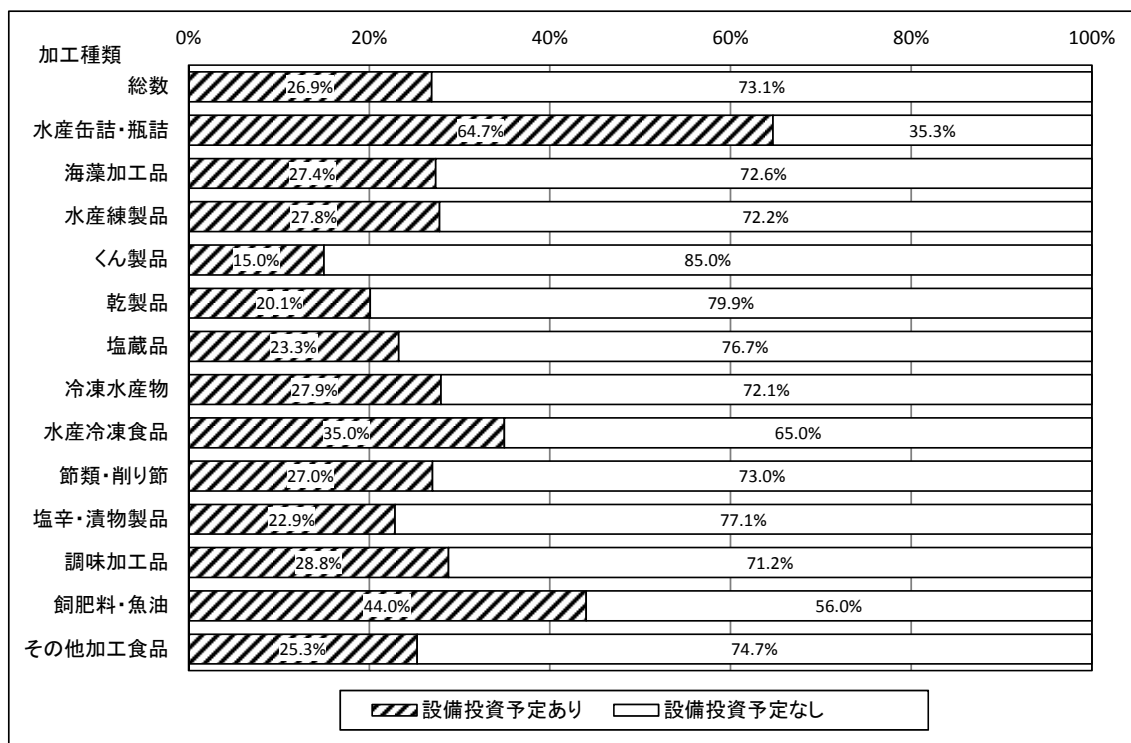


図 II-2-3 設備投資計画の有無(構成比)

② 設備投資の予定額

今後5年以内に「設備投資の予定がある」と回答し、かつ設備投資の予定額も回答した事業所の全体についてみると、「1,000～3,000万円」の設備投資を予定している事業所が31.3%であり、最も多くなっている。

加工種類別にみると、「水産缶詰・瓶詰」（55.5%）、「飼肥料・魚油」（72.8%）で1億円を超える設備投資を予定している事業所が多い。

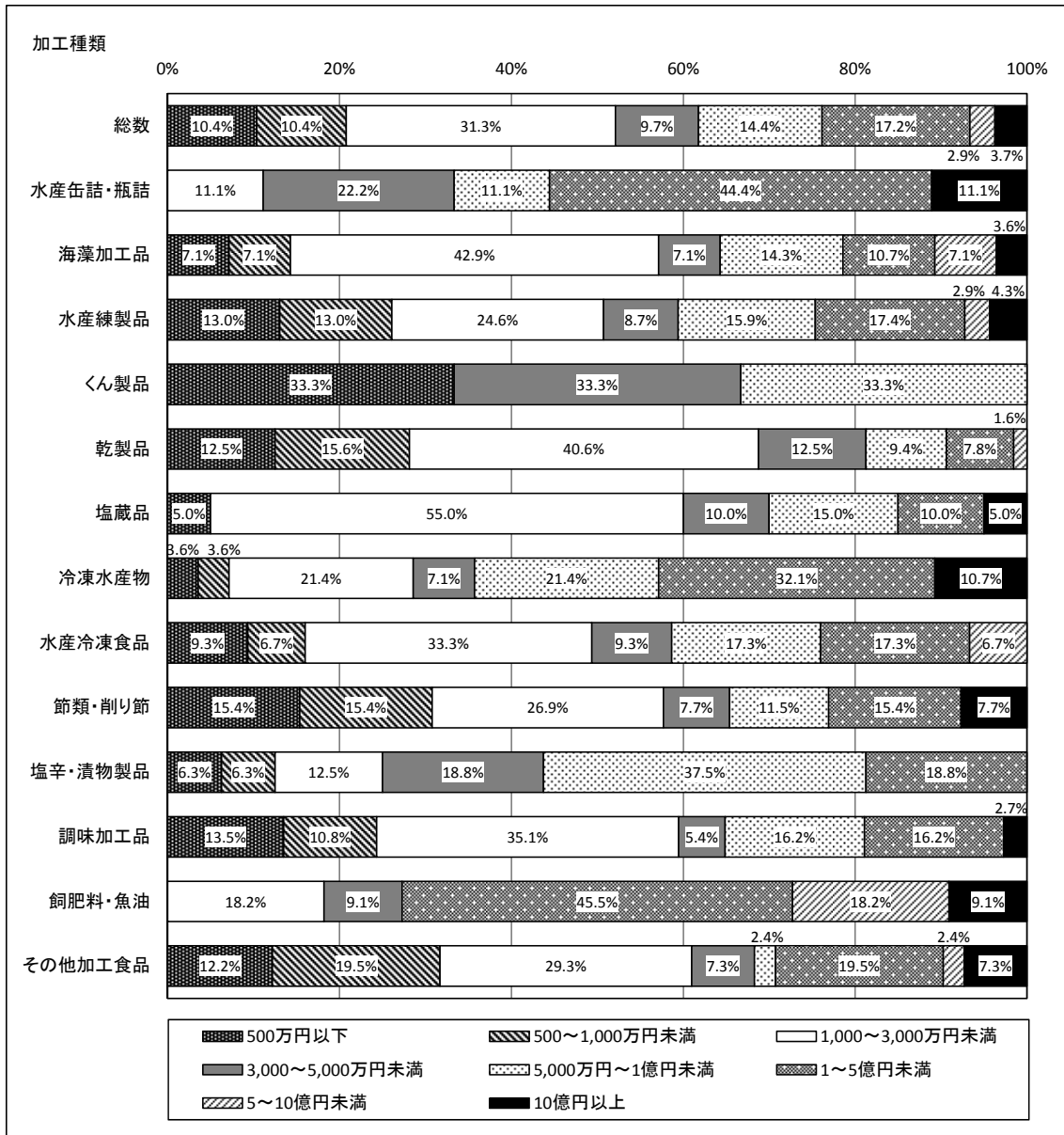


図 II-2-4 設備投資額の規模(構成比)

③ 設備投資額の借入予定

設備投資のための借入予定については全体では「75%以上」が61.2%、「50～75%未満」が32.8%となっており、設備投資額の50%以上を借り入れる予定のある事業所が全体の9割以上を占める結果となっている。

加工種類別にみると、「くん製品」では「75%以上」が100%となっている。

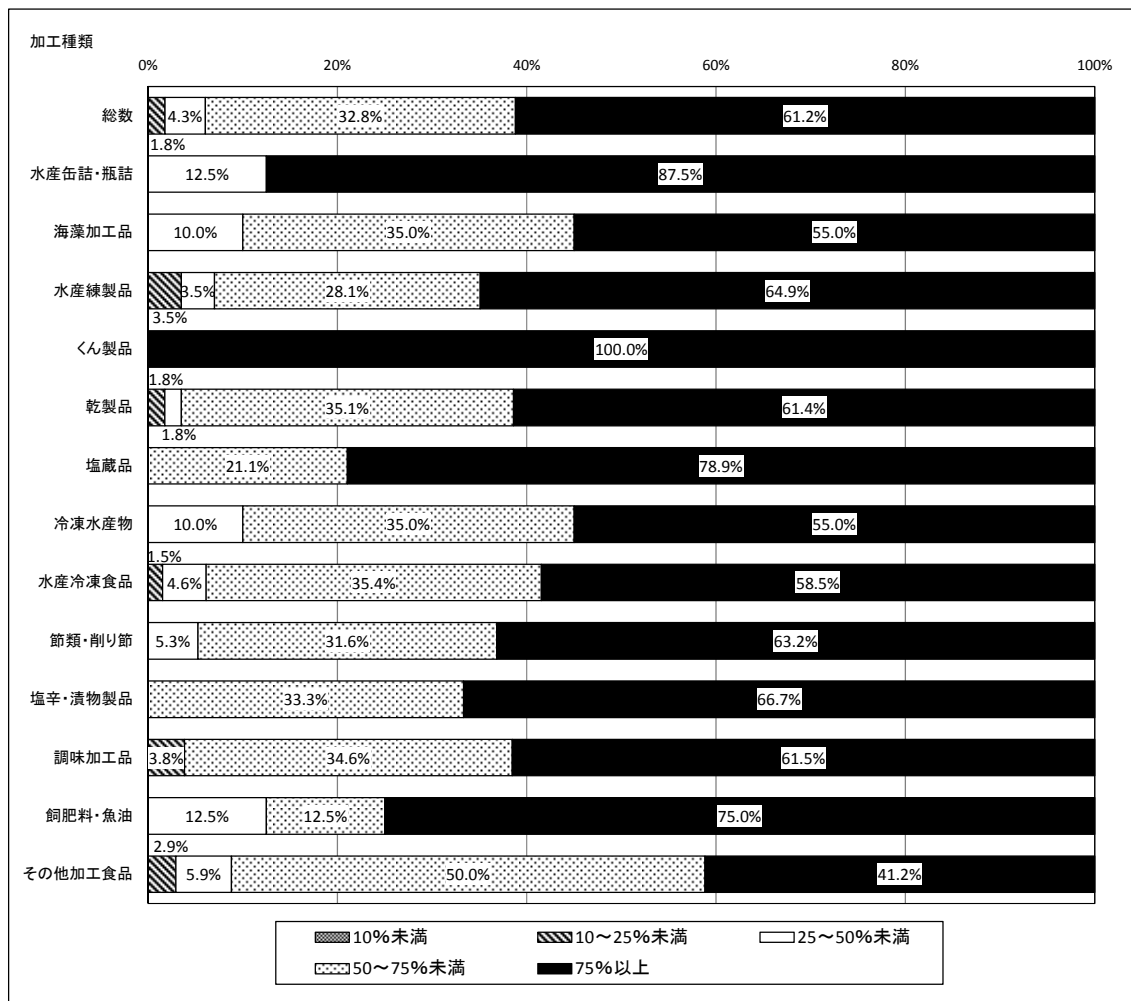


図 II-2-5 設備投資額のうち借入予定割合(構成比)

④ 設備投資先

設備投資先をみると、96.3%の事業所が「所在都道府県内」での投資を予定している。「海外」への設備投資は、加工種類別では「塩蔵品」の7.1%が最も高い。

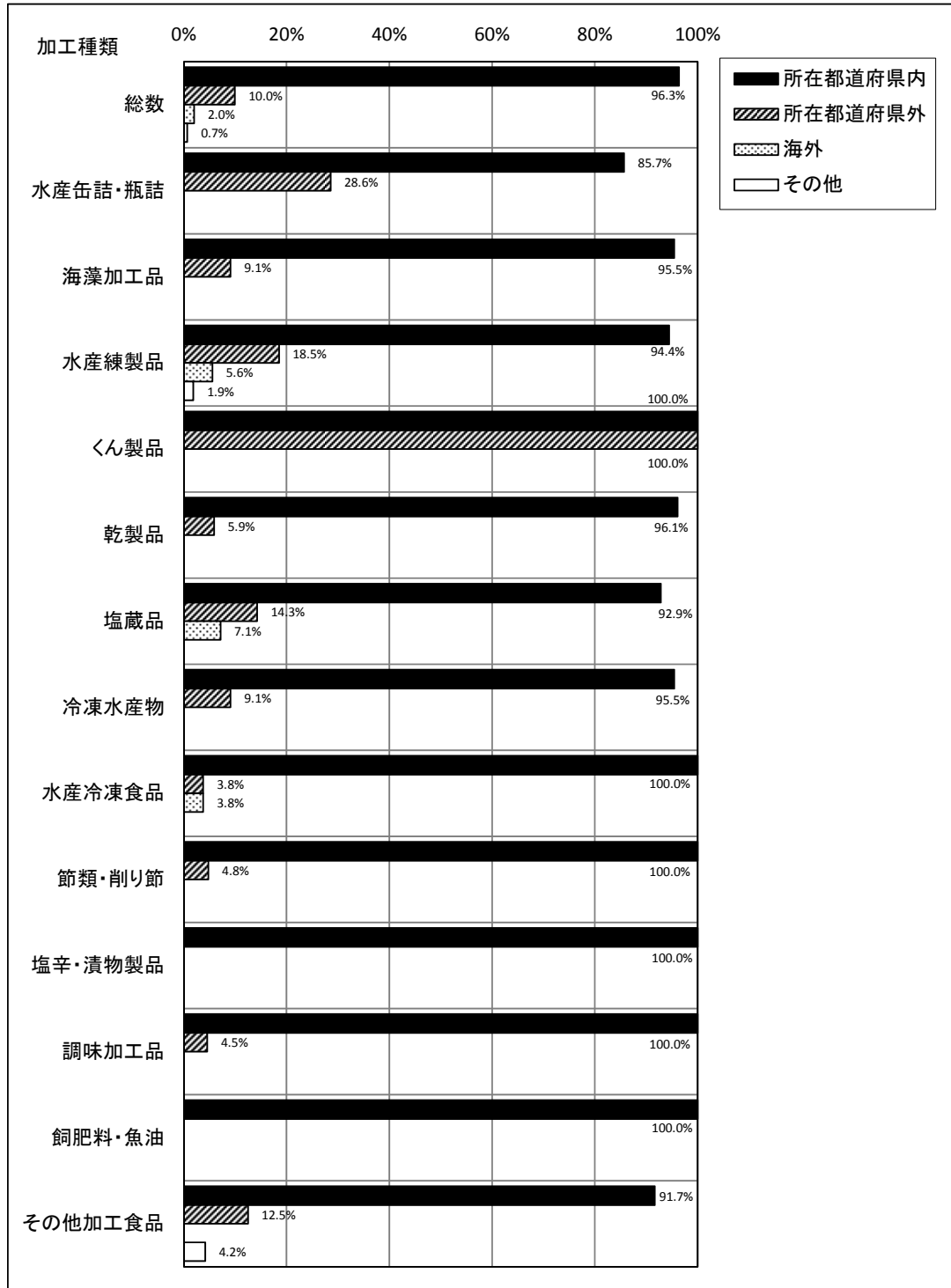


図 II-2-6 予定する設備投資先(出現率)

⑤ 設備投資の内容

設備投資の内容をみると、全体では「水産加工機器・設備」(68.8%)、「工場」(52.2%)、「冷凍冷蔵施設・設備」(45.4%)の割合が高い。

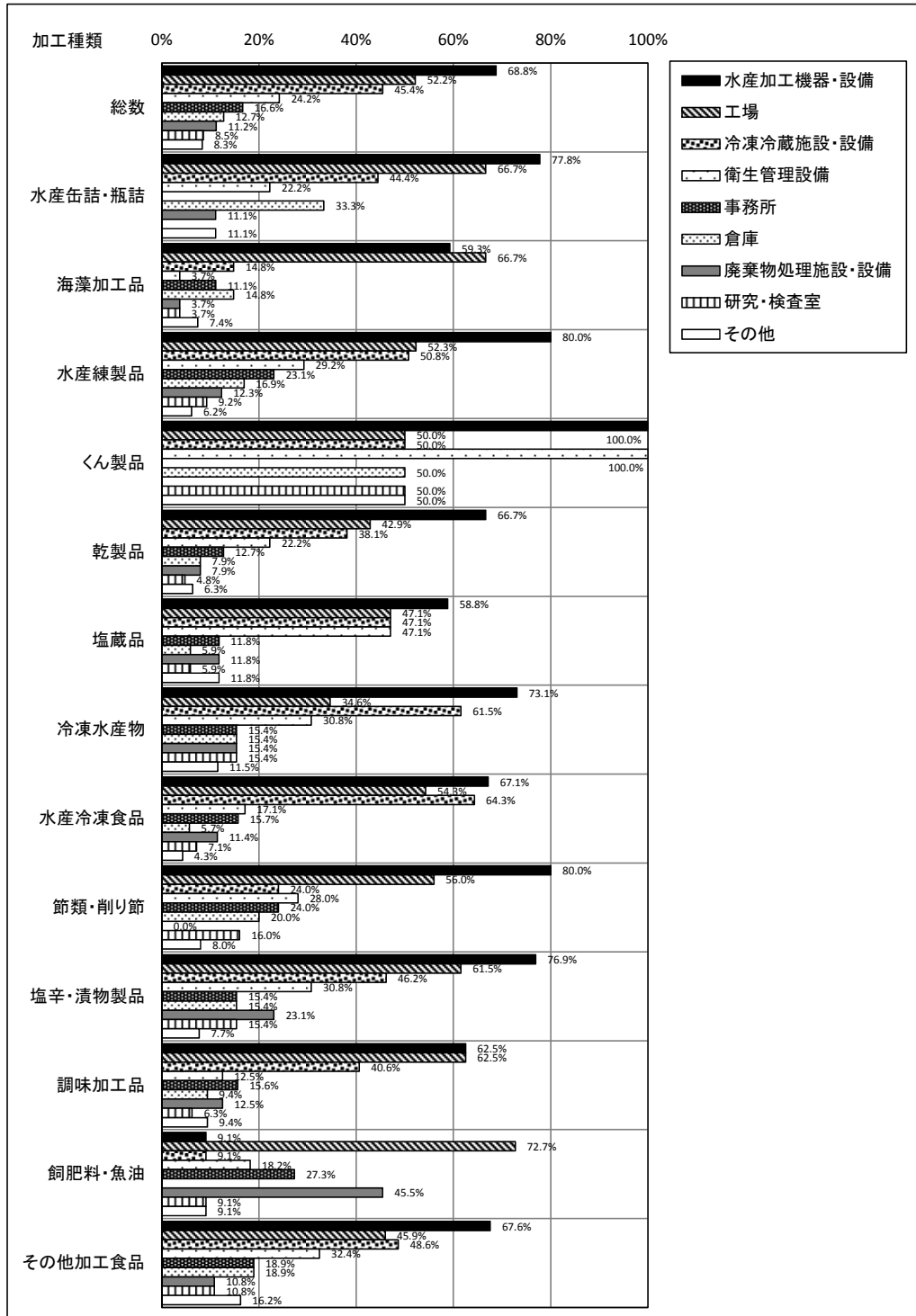


図 II-2-7 設備投資の内容(出現率)

⑥ 設備投資の目的

設備投資の目的を見ると、全体では「老朽化施設の維持・補修、更新のため」(68.8%)が最も多くなっている。次いで「品質・衛生管理向上のため」(57.9%)、「合理化・省力化のため」(44.7%)の割合が高い。各加工種類別においても概ね同様の傾向となっている。

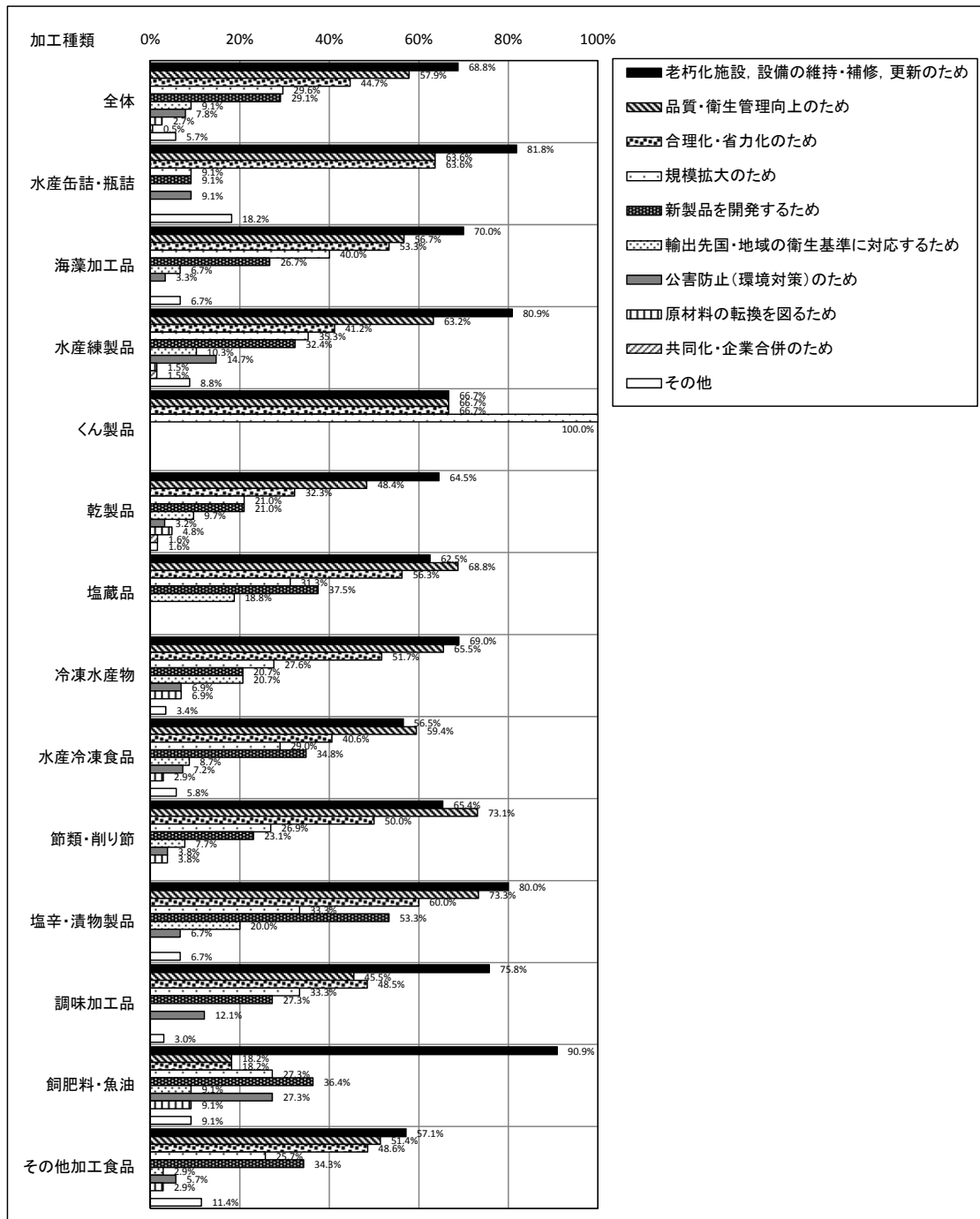


図 II-2-8 設備投資の目的(出現率)